

# 高橋 宗也



## 県政レポート 2024年(令和6年) 新春号



### 政調会長と大震災復興調査特別委員会の委員長を拝命

新年おめでとうございます。県議会議員として3期目に入りました。今年も東松島市と宮城県の持続的な発展のため、全力で職務にあたってまいります。

今期は会派の政調会長、超党派の政務調査会長会議の座長、そして大震災復興調査特別委員会の委員長を拝命いたしました。

あの東日本大震災から13年目を迎えるようとしていますが、そのような中で、元日には能登半島で震度7を観測した大地震が発生いたしました。

地域にとって最重要分野のひとつは、防災政策の向上推進です。長い間多くの支援協力を受けてきた宮城県として、最大限に被災地、被災者支援を進めつつ、相互協力の体制を築くよう、調整してまいります。

12月の県議会では、約533億円を追加する補正予算、条令改正案等を議決。

さらに「パレスチナ自治区・ガザ地区における平和の早期実現を求める決議」を会派から提案し、全会一致で決議が採択されました。

また、120項目にわたる令和6年度当初の県予算にかかる要望書を取りまとめ、令和6年度の当初予算に反映するよう、村井知事に要望。

県政の最前線で、東松島市のみなさまの声を県政にしっかり反映してまいります。引き続き、情報の共有等、よろしく願いたします。

### 県議会の役職

昭和37年生まれ。  
平成29年5月～県議会議員。  
令和元年～2期目。  
令和5年～3期目。

※前職・東松島市役所復興政策部長。東日本大震災から一貫して復興業務等を担当。

【宮城県議会】 大震災復興調査特別委員会委員長。政務調査会長会議座長。建設企業委員会委員。予算特別委員会理事。

【自由民主党・県民会議】 政調会長。農業議員連盟副会長。水産漁港議員連盟幹事長。防衛議員連盟幹事長。環境・エネルギー・SDGs推進議員連盟副幹事長。宮城オルトレイル推進議員連盟幹事長。

【超党派議連】 宮城県私学を支援する県議の会幹事長。宮城県スポーツ議員連盟幹事。宮城県 ILC 誘致議連幹事長。ほか

## 12月議会追加補正予算 約533億円「物価高騰対策、産業支援、災害対応など」



農業施設園芸等に助成拡大



河川整備など国土強靱化を加速

物価	L P ガス料金負担軽減支援費 L P ガス料金等の高騰にかかる支援費	約11億9,000万円
医療	医療機関等物価高騰対策費 医薬関係の光熱費等かかり増し経費に助成	約5億8,000万円
福祉	社会福祉施設等物価高騰対策費 福祉・介護・障害関係施設への支援費	約3億8,000万円
農業	園芸農業原油価格高騰対策費 農産物共同利用施設等原油価格高騰対策費 園芸施設・ライスセンター等への高騰対策支援費	約2億3,200万円 約1億5,500万円
水産	水産業・遠洋漁業・養殖業原油価格高騰対策 水産関係の原油高騰対策支援費	計約6,500万円
商工	中小企業等再起支援費 エネルギー価格高騰の影響を受ける中小企業等の販路開拓等への助成	約1億4,000万円
運輸	貨物運送事業者支援費 貨物運送事業者等に対する事業継続への支援	約6億2,700万円
防災	防災・減災、国土強靱化対策費 河川・道路、農村整備、水産業基盤等の防災対応追加整備費	約275億3,600万円

# 宮城県議会・予算特別委員会 高橋 宗也 総括質疑



県議会では、決算審査の際、全議員で構成される決算特別委員会が設置されます。

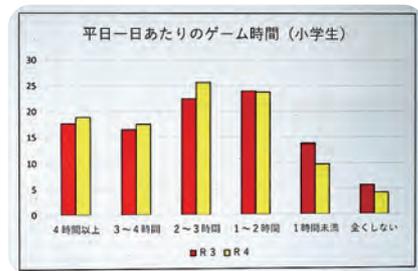
高橋は、会派を代表して総括質疑に登壇し、宮城県の重要な課題について、政策提言も含めて総括質疑を行いました。



温暖化に対応した水稻品種を



水産業の持続に向けて国・県と連携



一日中ゲームをしている児童が増加



東松島市では「デジタルメディアコントロール」通称「だめこん」のルールを子どもたちがつくって、目標達成に取り組んでいます。

## 急激な温暖化が進んでいる 高温耐性を持った県産米の開発が急務

●農業における地球温暖化の影響が大きくなっている。令和5年の夏は史上最高の暑さで、すさまじい猛暑が続き、水稻は一等米の比率が下がり、未熟粒の発生なども多くなっている。国立環境研究所では、高温による水稻品質の低下を防ぐため、少なくとも主要品種で高温耐性を持った品種を開発・導入する必要があると発表している。我が県として、水稻の高温適応米の開発は、最優先の課題だと考えるが、今後の対応方針は。

**【知事執行部答弁】** 開発を更に加速化するため、みやぎ環境税も活用して、重点的に取り組む。今年度は、有望な系統として、二系統の現地調査も行った。

既存の優良品種を上回る特性を持つ品種の開発を加速化し、県農政部と東北大学の農学部、宮城大学の食産業学群の三者で連携して進めていく。

## 水産業の持続について 東京電力の賠償保障等の充実を求める

●東京電力に対して、賠償等の情報公開を我が議会として強力に求めてきた結果、昨年度、やっと賠償額の総額や比率が初めて公開された。県内全体の賠償請求に対する賠償の率は、48.89%ということで、全体の半額にも届いていない状況にある。また、危惧していた風評被害が既に発生している。

処理水の取扱いに関する宮城県連携会議を早急に開催し、国が前面に立った指導や賠償制度のシステム構築を県として強力に働きかけ、漁業者、加工業者等に支援し、持続的な漁業活動に寄り添うことが必要。知事の見解を求める。

**【知事執行部答弁】** 国に対し、東京電力を強く指導・監督するよう要望していく。

また、10月6日に、処理水の取扱いに関する宮城県連携会議を開催し、会議の場において、国と東京電力に対し、漁業者、加工業者の声を直接届け、必要な対策を強く訴えていく。県として、つなぎ融資資金等の制度を設けていくが、それだけでは息切れしてしまう。一日も早く、しっかりと損害に見合った賠償額が支給されるように求めていく。

## 児童生徒の学習時間、県の目標からさらに下がっている 家庭・地域の理解推進と「東松島市のデメコン」の事例

●児童生徒の学習時間について令和4年度の達成度は、県の目標達成には程遠く、逆に低下している学年も多い。

東松島市でも同様の課題があり、市教委や学校、そして家庭・地域の理解を巻き込んだ、東松島デジタルメディアコントロールという取り組みがスタートしている。成長期にスマホやゲーム依存になると、いわゆるスマホ脳になってしまい、脳の前頭前野が育たないリスクが高くなり、当然、学力もなかなか向上していかない。

子どもたちの学習環境、特に家庭教育推進について、成果を踏まえた今後の方針を伺う。

**【県教育長答弁】** 県として、数値目標に達しておらず、家庭学習が十分定着していない状況にある。東松島市のデメコンの取り組みは、小中学校の代表児童による話し合いにより決定されたということで、主体的に考えて実行に結びついた「好事例」だと認識している。

各市町村にも共有させていただいた。県でも参考して、メディアガイドブックの作成に着手し、児童生徒が自ら学習時間の確保につなげていくよう、学校や家庭に促してまいりたい。

## トピックス



海岸線の再生を目指す植樹式



東松島市民文化祭開会式



東北福祉大陸上部合宿の歓迎式

## 「地域と共生する宮城県再生可能エネルギー等・省エネルギー促進条例」議員提案条例を制定



令和5年9月議会において、高橋は再生可能エネルギー・省エネルギーを推進し、さらに自然環境との共生を推進していくため、議員提案条例の制定に向けて調整する超党派議員会の座長を務め、結果、全会一致で「地域と共生する宮城県再生可能エネルギー等・省エネルギー促進条例」が新たに制定されました。

以下、議会本会議において提案理由を述べるために登壇した要旨です。

地球環境の変化が加速している現在、2050カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みの推進が急がれる一方で、地域の合意形成や自然環境等への影響に対する懸念の高まりなど、エネルギー等を取り巻く環境は大きな変革の時代を迎え、これらを踏まえた対応が急務となっています。

夏の沸騰するような暑さ、その後の豪雨災害の多発。まさに、再生可能エネルギーの導入と省エネルギー化の推進による地球温暖化対策は、喫緊かつ最大の課題です。

カーボンニュートラルを実現するという重要な目標を達成するためには、我が県としても迅速に行動していく必要があります。

本条例は、こうした状況を踏まえ、県民の皆様から様々な御意見を頂きながら、約十か月にわたり議論を重ね、作成いたしました。「地域と共生する」視点を加え、さらに県、市町村、事業者、県民のそれぞれの責務等を定めるなど、条例名称から新たに見直すこととなります。改めて、検討に御協力いただいた全ての皆様に、心からの感謝を申し上げます。

条例の文言に込められている課題の認識と今後の促進に向けた思いを、議会と執行部、共に共有していただき、条例に基づいた政策、事業等を進め、カーボンニュートラルの実現に向け、先進的な役割を果たす宮城県となるべく、関係者一丸となって進めてまいりたいと考えております。

議員各位におかれましては、趣旨をご理解のうえ、ご賛同賜りますようお願いいたします。



## パレスチナ・ガザの平和決議 ～政務調査会長として～

政務調査会長(政調会長)は、県議会の会派としての意見等を取りまとめ、知事執行部や議会会派間の調整・協議を行います。高橋は今期、県議会の自由民主党・県民会議の政調会長を拝命いたしました。同時に、全会派が参加する政務調査会長会議の座長を務め、意見書や決議等の会派間の調整・協議を行っています。

先月の議会では、危機的状況にあるパレスチナ・ガザの平和決議を自由民主党・県民会議から提案し、全会一致で決議が採択されました。決議文は以下のとおりです。

## パレスチナ自治区・ガザ地区における 平和の早期実現

パレスチナ自治区・ガザ地区は、深刻な人道上の危機に瀕している。

市民の人命が危機的状況にさらされており、国際社会として本格的な休戦等、事態の鎮静化を進め、平和を実現することが必要不可欠である。

よって、本県議会は、この紛争に関わる全ての当事者及び日本政府をはじめとする国際社会に対して、一刻も早い平和の実現と、早急な事態の解決・改善を図るため、次の事項について強く求める。

- 1 国際人道法をはじめとする国際法の遵守
- 2 即時かつ持続的な休戦の実現及び人質の即時解放
- 3 人道危機を改善する、水や食料、燃料、医薬品等を含む人道的な支援物資の供給以上、決議する。 令和5年12月19日



## 県議の1か月 (高橋宗也12月)

県議会議員の活動って、普段どんなことをしているの？  
というご質問をよくいただきます。

主な議員活動について、12月を例にご紹介いたします。

- 12月 1日(金) 県議会定例会(仙台市)
- 12月 2日(土) 姉妹都市・東京都大田区関係者来市
- 12月 3日(日) 地域コミュニティ行事
- 12月 4日(月) 仙石線整備要望(仙台市)
- 12月 5日(火) 再生可能エネルギー打ち合わせ
- 12月 6日(水) 県議会定例会(仙台市)
- 12月 7日(木) 県議会定例会(仙台市)
- 12月 8日(金) 県議会定例会(仙台市)
- 12月 9日(土) 矢本東イルミネーション点灯式
- 12月10日(日) 大塩地区パレーボール大会
- 12月11日(月) 政調会県執行部協議(仙台市)
- 12月12日(火) 県議会定例会(仙台市)
- 12月13日(水) 県議会定例会(仙台市)
- 12月14日(木) 県議会定例会(仙台市)
- 12月15日(金) 県議会定例会(仙台市)
- 12月16日(土) あおい地区収穫祭
- 12月17日(日) 自治会意見交換
- 12月18日(月) 県議会定例会(仙台市)
- 12月19日(火) 県議会定例会(仙台市)
- 12月20日(水) 商工会経営大賞表彰式・講演会
- 12月21日(木) 県道完成式典、テープカット
- 12月22日(金) COP28について打ち合わせ
- 12月23日(土) ライオンズ寄付贈呈
- 12月24日(日) 地域コミュニティ行事
- 12月25日(月) 観光交流インバウンド調査
- 12月26日(火) 観光交流インバウンド調査
- 12月27日(水) 政調会県執行部協議(仙台市)
- 12月28日(木) 漁協打ち合わせ
- 12月29日(金) 県道現地調査
- 12月30日(土) 休日
- 12月31日(日) 休日



アフリカ諸国視察団に復興の経過説明



村井知事と宮城の水産物振興イベント



会派役員による知事予算要望

## ツール・ド・東北・奥松島グループライド コロナ禍を乗り越えて再開

東北最大の自転車イベント、秋のツール・ド・東北奥松島グループライド&ハイキングに参加いたしました。

素晴らしい景観が続く、復興の路。約70キロの自転車コースです。石巻専修大を大震災で亡くなられた方々に黙祷を捧げて早朝にスタート。海浜緑地公園、宮戸大高森、東松島市震災伝承館で東日本大震災の震災時と復興の講話を伺い、専修大に16時に戻り、無事走走。

大曲、宮戸、野蒜の各休憩地点などで、東松島市民のみならずには、全国から参加した参加者に食事や飲み物の提供や、小旗を振って歓迎していただきました。ありがとうございました。



## ウクライナなど世界の紛争影響国から 視察団が東松島市に

ウクライナ、南スーダン、エチオピア、パキスタン、4か国の政府の視察団が東松島市を訪問。国際協力の一環として、JICA「紛争影響国による地域社会再建」本邦視察研修に協力し、震災時から復興時の被災地の対応について意見交換させていただきました。

ウクライナの代表は、「大震災による被災とウクライナの状況は、天災と戦争で原因は異なるが、ゼロからのまちづくりが必要な点は同じ。東松島市の復興に向けた取り組みや震災瓦礫処理等は参考にしたい」と話していました。課題を共有し、解決につなげる努力を進めていきます。世界はどんどん近くなり、交流や連携は必須になります。未来に向けて！



## 県道・奥松島松島公園線 宮戸大浜道路が完成

県道・奥松島松島公園線の最後の未改良区間、大浜～月浜間の拡幅改良工事が完成し、12月21日に完成式典とテープカットに出席。

海岸線を走る素晴らしい道路が完成いたしました。

地域説明会や意見交換など、何度も回数を重ねて地元との協議を進めていただいた県当局、用地買収に協力していただいた地権者、事業者等関係のみなさまに心から感謝いたします。

地域にとって、県と東松島市にとってもまさに「宝の道」です。

今後、サイクリング道路としてのブルーラインも整備し、さらに利活用を推進していく予定です



### 編集後記

今年のお正月は、元日に能登半島で大地震が発生。

国内外からの支援や協力は進みつつありますが、我々、東日本大震災の被災地だからこそわかることや、災害弱者のケア、心のケア、避難所、仮設住宅、復興に至るプロセスなど経験してきたことも多くあります。情報共有や支援活動など、役割を果たしつつ、また、本来の地域課題にも、しっかり対応していく年にしたいと思います。

今年は政調会長や大震災復興調査特別委員会の委員長など、重要な職責を務める1年になります。初心を忘れず努力を重ねてまいります。今年もよろしくお願いたします。

### 発行者・事務所

発行者 宮城県議会議員 高橋宗也  
事務所 郵便番号 981-0504  
東松島市小松字上浮足115  
(市民体育館前)  
電話 0225-83-5880  
メール shuya@kind.ocn.ne.jp



フェイスブック、インスタグラム、X (旧ツイッター)

高橋宗也

検索

※お友達の申請・フォロー歓迎いたします。

## お茶の間懇談会 県政懇談会

県政懇談会・県政説明会、随時開催いたします。

少人数での開催、歓迎いたします。

ご希望や要望等がありましたら、電話、郵便、メール等でお気軽にご相談ください。



お問い合わせ先 高橋宗也県政事務所 TEL.83-5880